



Management Reformist power
Product Creativity
R&D Capabilities
Manufacturing technique Development power
Product Development power

Confidence to Create

Amazing Chemicals

- ノンハロゲン縮合リン酸エステル系難燃剤 [アデカスタブ FP-600]
- 高耐熱タイプフェノール系酸化防止剤 [アデカスタブ AO-80]

当社は上記製品のほか、多種のプラスチック添加剤を取り揃えております。豊富なデータ、適切なテクニカルサービスを背景に、皆様の技術開発に貢献致します。

お問合せ先
株式会社 ADEKA
〒116-8554 東京都荒川区東尾久7-2-35
http://www.adeka.co.jp

【難燃剤】 難燃剤G
【酸化防止剤】 添加剤G
Tel. (03)4455-2846
Tel. (03)4455-2845

ADEKA
Amazing Chemicals



その視線の、ずっと先まで。

化学の力で環境を守ること
私たち大八化学の仕事です。

大八化学工業株式会社
大阪本社 / 〒541-0046 大阪市中央区平野町1丁目8番13号 Tel: 06-6201-1451
東京支店 / 〒104-0041 東京都中央区新富1丁目13番21号 Tel: 03-3555-2911
ISO9001・14001 認証取得 URL: www.daihachi-chem.co.jp



3Dプリンター用拡大 新材料投入し需要開拓

丸紅情報システムズがP E Iを材料に3 Dプリンターで造形した航空機内装パーツ

エンブラは射出成形する場合、射出成形機以外に、射出成形機のノズルから出たエンブラが製品部分に届くまでの流入経路でもエンブラの成形品が発生する。流入経路部分の成形品は、環境への配慮や材料コストの削減などの観点から、射出成形製品を切り離した後、粉砕して再生材として繰り返し使われている。そのエンブラとしてPOM、PBT、PAなどの材料がある。また、LCPについては、再生

エンブラは射出成形する場合、射出成形機以外に、射出成形機のノズルから出たエンブラが製品部分に届くまでの流入経路でもエンブラの成形品が発生する。流入経路部分の成形品は、環境への配慮や材料コストの削減などの観点から、射出成形製品を切り離した後、粉砕して再生材として繰り返し使われている。そのエンブラとしてPOM、PBT、PAなどの材料がある。また、LCPについては、再生

比率が近年、上がってきている。熱溶解積層法(FDM)の3Dプリンターを扱っている丸紅情報システムズ(東京都渋谷区)は、14年1月に3Dプリンター用造形材料としてPA12(ナイロン12)の販売を開始した。結晶性樹脂の造形材料は初めて。今まで3Dプリンター用造形材料でエンブラの材料は、P C、P E Iといった非晶性樹脂だった。欧米でもナイロン12への期待は大きいという。ナイロン12は耐薬品性に優れており、いろいろな用途に使われている。一番大きいメリットは柔軟性だ。このため、エンブラで製品をつくるときに型の活用や削り作

丸紅情報システムズは、14年1月に3Dプリンター用造形材料としてPA12(ナイロン12)の販売を開始した。結晶性樹脂の造形材料は初めて。今まで3Dプリンター用造形材料でエンブラの材料は、P C、P E Iといった非晶性樹脂だった。欧米でもナイロン12への期待は大きいという。ナイロン12は耐薬品性に優れており、いろいろな用途に使われている。一番大きいメリットは柔軟性だ。このため、エンブラで製品をつくるときに型の活用や削り作

特徴を生かして製品化に貢献

エンジニアリングプラスチック

衝撃に強くて軽量

次世代タクシーのウインドーに

エンブラは耐熱性が100度以上あり、強度が50%以上、曲げ弾性率が2・4%以上ある樹脂をいう。結晶構造の有無によって、結晶性樹脂と非晶性樹脂とに分けられる。結晶性樹脂としてポリイソブレン(P I)、変性ポリフェニレンエーテル(P P E T)、ポリイソブレン(P I)、変性ポリフェニレンエーテル(P P E T)がある。P Cは透明性と耐衝撃性、自己消化性などを持っている。メガネのレンズや光ディスク、カーボートの屋根、高速道路の防音板などさまざまな分野で活用されている。自動車向けもその一つで、ヘッドランプやパネル、ラマルフ、ウインドーの材料に使われている。豊田自動織機は2013年11月、12月に東京都内で開かれた自動車関係の展示会「第43回東京モーターショー2013」で、P C製のウインドーを参考出品した。P Cの特徴を生かした軽量化による燃費向上と、低重心化による走行安定性向上に貢献している。このP C製のウインドーは、トヨタ自動車も同ショー2013の主な参考出品車の一つとして出展した「JPN TAXI concept」の右側リドアドアウインドーに採用された。JPN TAXI conceptは、低誘電率で、低塩素、そしてアルミニウムボディーとの金属密着性に適したP P Sの需要が期待されている。POMも自動車、電気・電子分野の機構部品などに使われている。必要の伸びを予想して、アジアで設備増強が相次いでいる。ボリプラスティックスはマレーシアの子会社で進めていたPOM生産設備増強について、14年1月に生産を始めた。年間9万本の供給能力増強を行い、供給能力は同29万本となった。今回の増設では省エネルギー化を実現することでコスト競争力を高めるとともに、高品質な製品の供給を可能にする。

が、中国などのスマートフォンのメーカー向けに高まっている。PBTはEV、HVなどの次世代自動車向け需要のほかに、国内電力会社が導入を進めようとしているスマートメーター(通信機能付き電力計)の接続部品をはじめとするスマートグリッドの需要が期待されている。



うれい、たのい、
ディー アイ シー
DIC

化学で暮らしをステキにしたい！
うれしい笑顔、たのしい笑顔が見たいから。

DICは、
「化学で彩りと快適を提案する」
ケミカルカンパニーです。

ディーアイシー
DIC 株式会社
http://www.dic-global.com/



ポリ

ジュラコン®。耐久性に優れたスーパーな材料。

様々な環境下で酷使される生活家電や、安全性が最重要視される自動車部品は、どんな状況においてもその特性を保ち続けることが求められます。長時間、広範囲の温度下で、引張り強さ、伸び、衝撃強さなどの様々な機械的特性をバランスよく保ち続けるのが、POM樹脂ジュラコン®の特徴です。非常に優れた耐疲労性や繰返し応力。連続振動使用にも安定した性能を保持することから、主として歯車やねじ、軸受けなどの機械要素部品を中心に活躍しています。

Polyplastics

ポリプラスチックス株式会社
〒108-8280 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル TEL:03-6711-8600
www.polyplastics.com